

マリン・クンダン

^{かあ}
お母さん^{たいせつ}を大切にしよう



^{さいわ}
再話 ユウド・プラセティヨ ^{なかごし} 中越 ^{なおみ} 尚美

イラスト Heiwa Library ^{えいご} 英語クラブの子どもたち ^こ

ハワイ・広島・フィリピンから発信している平和のボランティアグループ Heiwa Library は、日本のフリースクールで英語クラブを開催しています。クラブでは、小中高生が多言語絵本を制作しています。子どもたちはAIへの指示（プロンプト）を英語で書き、AIでイラストを作っています。

インドネシアのお話^{はなし}です。



スマトラ島^{とう}にお母さん^{かあ}と男^{おとこ}の子^こが住^すんでいました。男^{おとこ}の子^この名^な前^{まえ}はマリ^{マリ}ン・クン^{クン}ダンです。

マリ^{マリ}ンが小^{ちい}さい時^{とき}、お父^{とう}さんは遠^{とお}い島^{しま}へ働^{はたら}きに行^いきました。そして、帰^{かえ}って来^きませんでした。



かあ まいにち あさ ばん はたら
お母さんは毎日、朝から晩まで働きました
ちい かあ てつだ
た。小さいマリンもお母さんを手伝いまし
かね すこ
た。でも、お金は少ししかもらえませんでした
た き
た。それで、食べるものも着るものもあまり
か
買えませんでした。



すこ おお
少し大きくなったマリンは、もっと 働 き
ました。でも、お金^{かね}は少ししかもらえせん
でした。それで、食^たべるものも着^きるものもあ
まり買^かえませんでした。

マリンは、お母^{かあ}さんに言^いいました。

「もっとお金^{かね}がほしい。ぼく、遠^{とお}い島^{しま}へ行^いくよ。そこで働^{はたら}いて、お母^{かあ}さんに、たくさんお金^{かね}をも^もって帰^{かえ}る！」

お母^{かあ}さんは、泣^ないて言^いいました。

「行^いかないで、マリン。お父^{とう}さんも遠^{とお}い島^{しま}に行^いって帰^{かえ}って来^こなかった」

マリンはお母^{かあ}さんに言^いいました。

「お母^{かあ}さん、ぼくは必^{かなら}ず帰^{かえ}ってくるよ！」

そして、マリンは船^{ふね}に乗^のって遠^{とお}い島^{しま}へ
行^いってしまいました。



それから、お母さんは毎日毎日、海に話しかけました。

「マリン、元気？」

「マリン、どこで何をしているの？」



マリンは^{とお}遠い^{しま}島で、たくさん^{はたら}働きました。

^{かね}お金をたくさんもらって、おいしいものを
^た食べました。^{ふく}きれいな服も^か買いました。そう
して、^{なんねん}何年も^た経ちました。

^{まいにちたの}毎日楽しくて、マリンはお母^{かあ}さんのこと
^{わす}を忘れていました。

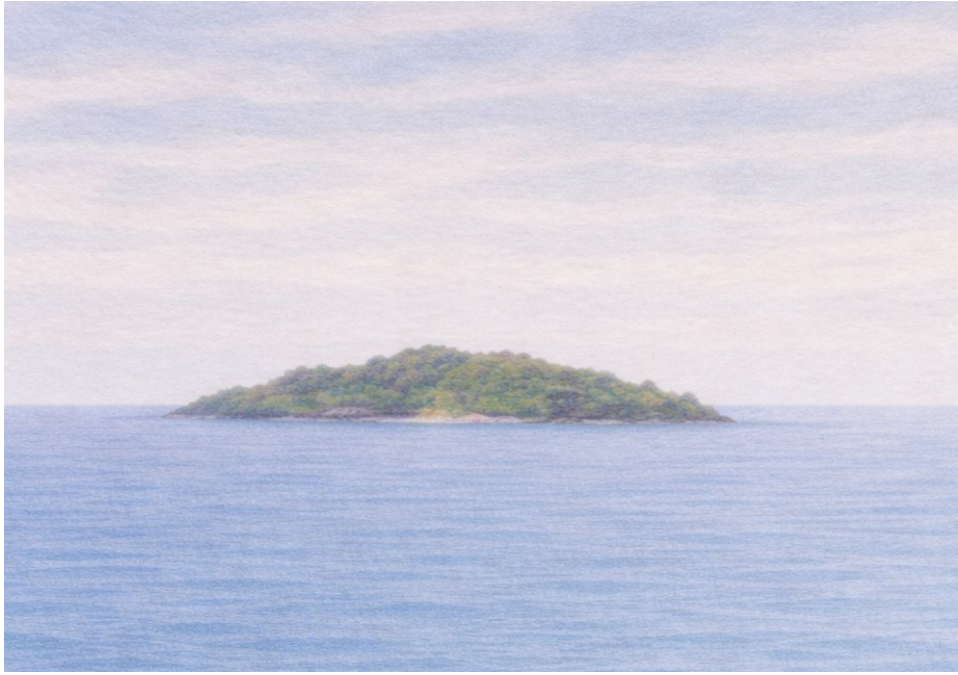


マリンは、その島^{しま}で^{おお}大きい家^{いえ}を^た建てまし
た。そして、きれいな人^{ひと}と結婚^{けっこん}しました。
マリンのお嫁^{よめ}さんは^き聞きました。

「マリンのお母^{かあ}さんはどこにいるの？
マリンの島^{しま}に^い行ってみたい」



その時、マリンはお母さんのことを思い出しました。



「そうだ！ お母さんが待っている。
お母さんにお金を持って帰るんだ」

マリンはお嫁さんと一緒に、お母さんに
会いに行くことにしました。

マリンのお母^{かあ}さんは、毎日マリン^{まいにち}のことを^{かんが}考えていました。いつも海^{うみ}を^み見て、^な泣いていました。



ある日、村の人たちが来て、言いました。

「おばさん！ マリンが帰って来るよ！」

「たくさんお金を持って帰って来るよ！」

「お嫁さんと一緒に帰って来るよ！」

それを聞いて、マリンのお母さんはとても
うれしくなりました。

「マリンに会える。もうすぐ会える！」

かみさま
神様、ありがとうございます」

まいにち あさ ばん はたら かあ
毎日、朝から晩まで働いたので、お母さ
んは、もう元気でではありませんでした。足も
いた ある かあ
痛くて、あまり歩けません。でも、お母さん
は みなと はし
は港まで走りました。

「マリン！ マリン！ あ
会いたい」

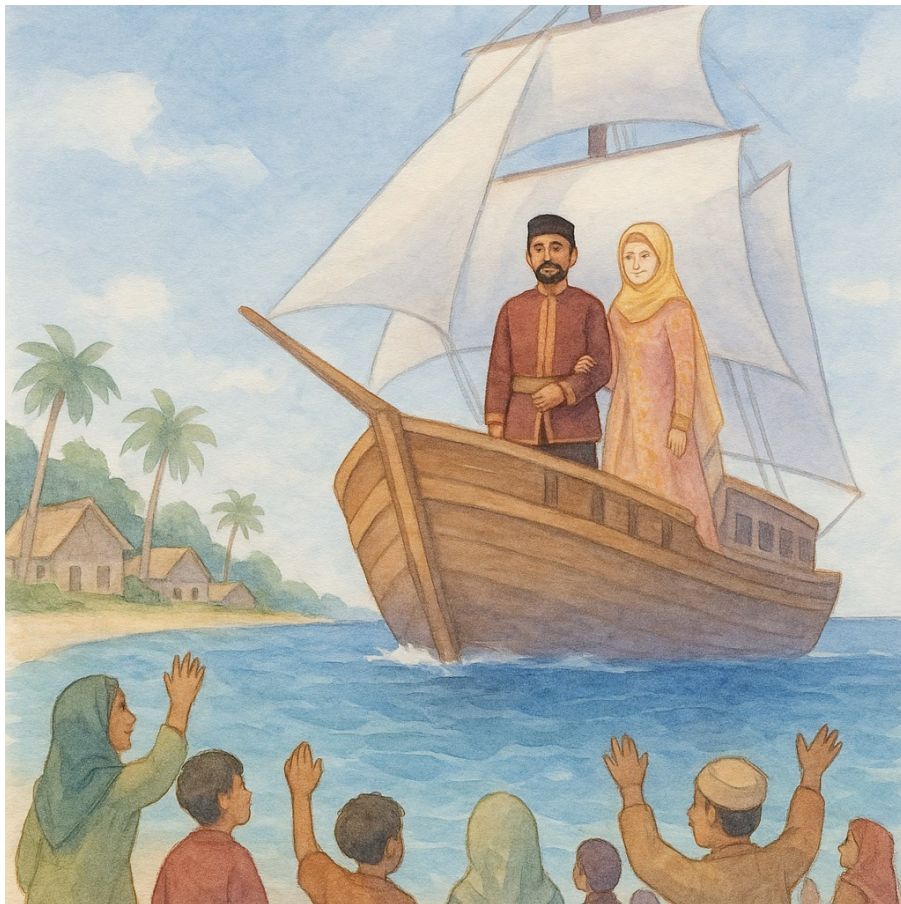


マリンが^{おお}大きい^{ふね}船で^{かえ}帰って^き来ました。

^{むら}村の人たちも^{ひと}集まり^{あつ}ました。みんなは、^{おお}大きい^{こえ}声でマリンを^よ呼びます。

「マリン！」

「おかえりなさい、マリン！」



ふね
船から、マリンが^で出^きて来^きました。きれいな
お嫁^{よめ}さんと一緒^{いっしょ}です。二人^{ふたり}はきれいな服^{ふく}を
着^きています。おみやげをたくさん持^もっています。
ます。



お母^{かあ}さんは急^{いそ}いでマリ^いンのところへ行^いきました。

「マリ^あン、おかえり。会^あいたかったよ」

マリ^{かあ}ンはお母^みさんを見^みて、驚^{おどろ}きました。

服^{ふく}はボロボロです。顔^{かお}も汚^{よご}れています。



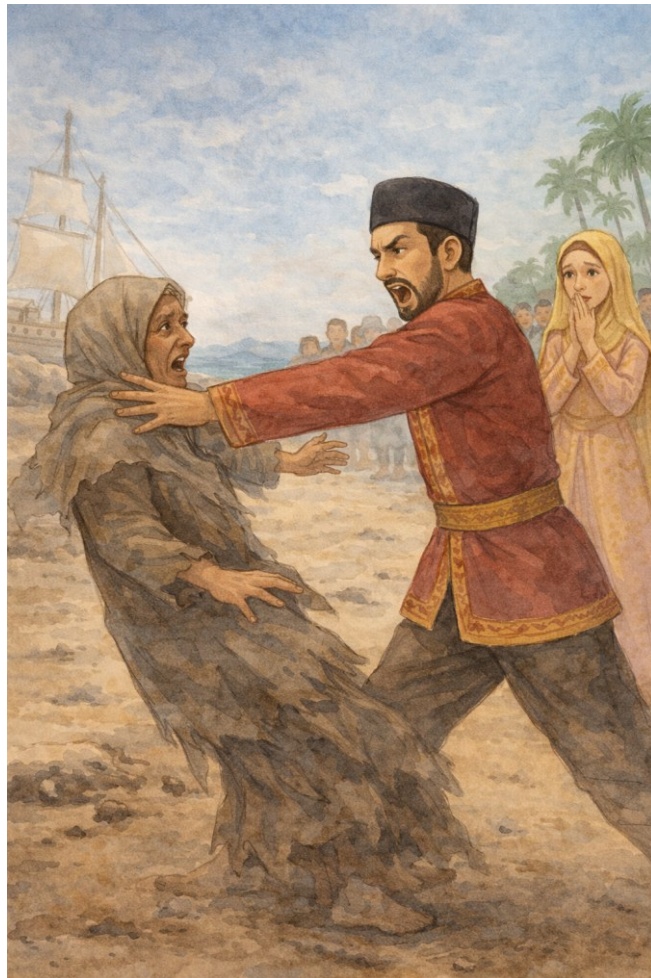
マリンのお嫁^{よめ}さんがマリンに聞^ききました。

「この人^{ひと}はだれ？」

マリンは恥^はずかしくなりました。

「知らない。こんな人^{ひと}、知らないよ」

マリンは、お母^{かあ}さんをお^お押しました。



「ああ、^{いた}痛い」

^{かあ}お母さんは^{たお}倒れました。

「マリン、^{わたし}私はお母さんだよ」

マリンのお母さんは^{かあ}^{よわ}^{こえ}^い弱い声で言いました。

でも、マリンは^{おお}^{こえ}^い大きい声で言いました。

^{ちが}「違う！ ^{かあ}お母さんじゃない！」



かあ かな な
お母さんは悲しくて、泣きました。

かみさま か
「ああ、神様。マリンは変わってしまいました。

やさ い
優しくかったマリンは、どこへ行ったの？」

とき そら くら おお こえ
その時、空が暗くなって、とても大きい声が

かみさま おこ
しました。神様が怒ったのです。



「マリン・クندان！ お母^{かあ}さんを大切^{たいせつ}に
しない息子^{むすこ}は、石^{いし}になるのだ！」

おどろ 驚いたマリンは、あわ 慌ててお母^{かあ}さんに あやま 謝
りました。

「ごめんなさい、お母^{かあ}さん。ごめんなさい
かみさま わたし いし 神様。私を石にしないでください！」



マリンは、^{あたま}頭^さを下^{あやま}げて謝^{あやま}りました。

けれども、マリンは^{いし}石^{いし}になってしまいました。



いし 石になったマリンは、いま
かあ お母さんに あやま 謝っています。



マリン・クンダンのいし 石はここです。



この本は、「読み物いっぱい」サイトで
無料公開しています。

「読み物いっぱい」は、世界の日本語学習者へ
やさしい日本語の読み物を届けています。
このお話は、レベル1の読み物です。

2026年4月

This book is available free on the “Yomimono Ippai” website.

“Yomimono Ippai” shares easy Japanese stories with learners around the world.

This story is a Level 1 reader.

April 2026